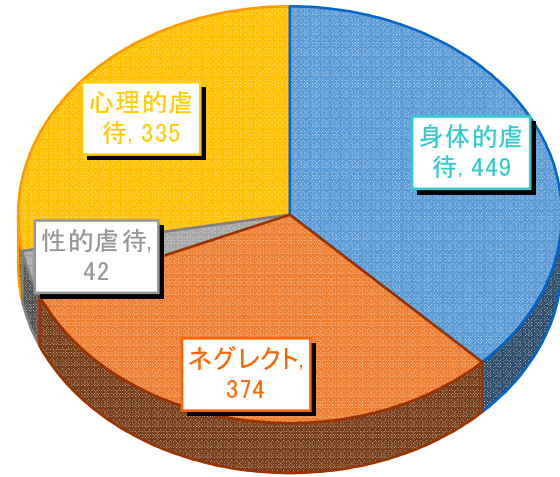
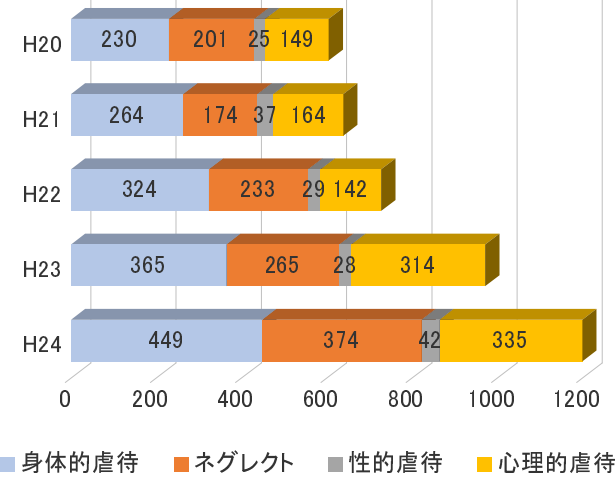


虐待の種類

H24種類別件数内訳



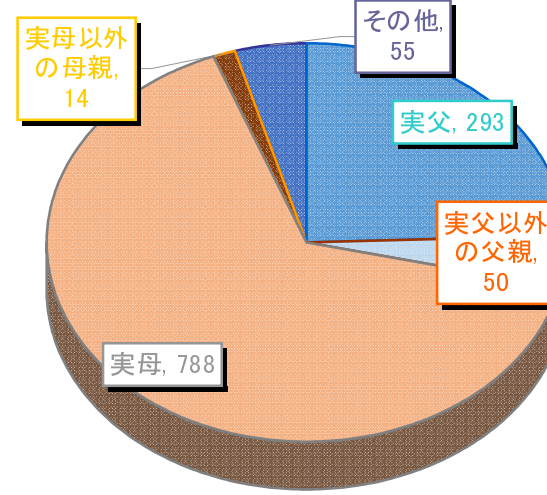
種類別件数の推移



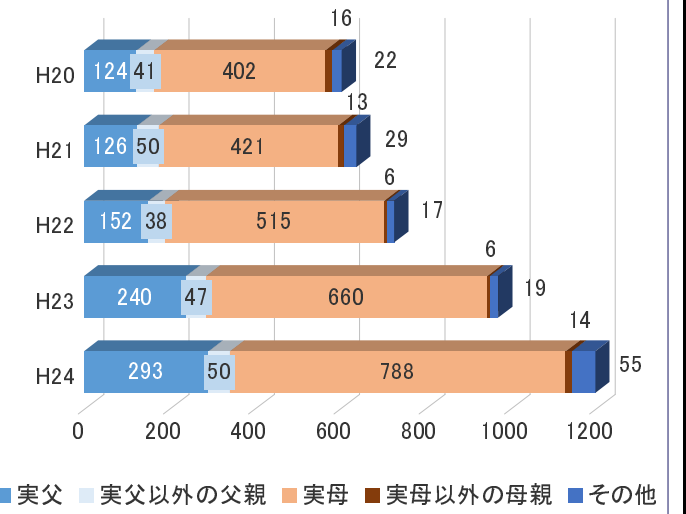
「身体的虐待」が最も多く、次いで「ネグレクト」「心理的虐待」の順に多い。「ネグレクト」は前年度比109件増(41.1%増)と最も大きな増加率を示しており、H23年度に急増した「心理的虐待」も、前年同様、増加傾向にある。

主な虐待者

H24主な虐待者の件数内訳



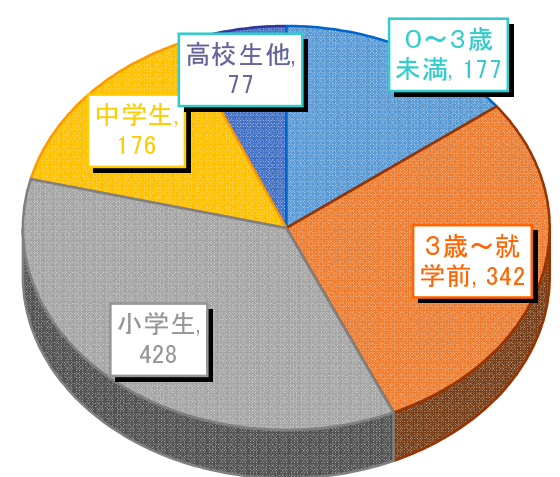
主な虐待者の推移



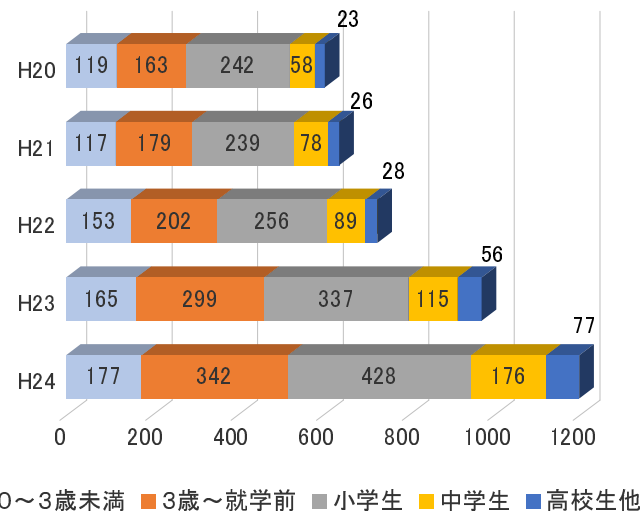
前年度同様「実母」が全体の7割近くを占め、「実父」と合わせた「実親」の割合が、全体の9割を超えている。

被虐待児の年齢

H24年齢別件数内訳



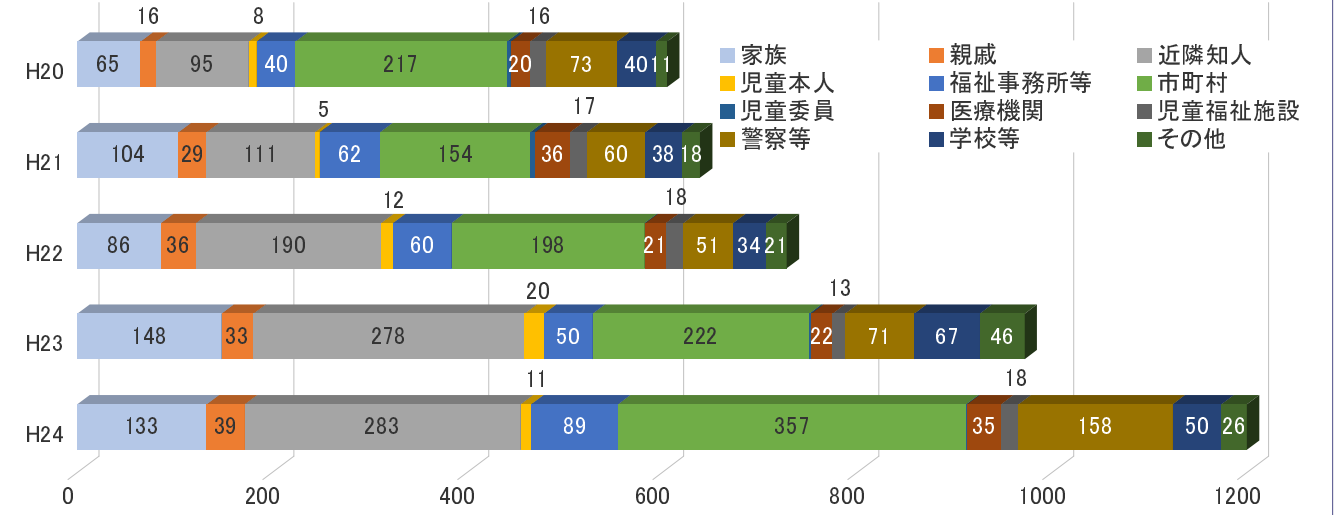
年齢別件数の推移



全体の半数近くが、就学前の児童だが、「小学生」「中学生」の増加が目立つ。特に「中学生」は前年度比61件増(53%増)と急激に増えている。

虐待通告の経路

種類別件数の推移



関係機関以外では、「近隣知人」が多い。前年度に比べ、「警察等」からの通告が87件増(122.5%増)と大幅に増えている。また、「市町村」や「医療機関」などの関係機関からの相談件数も増加傾向にある。